

MINATO

平成29年3月期第2四半期 決算説明資料

MINATO

平成28年11月11日

ミナトホールディングス株式会社

本年4月よりサンマックス・テクノロジーズ(株)を子会社化し、**売上高は前年同期比3.2倍超と大きく増加。営業損益は黒字化を達成。**

# 売上高3.2倍超、営業損益は黒字化を達成

MINATO

(百万円)

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	コメント
売上高	1,034	3,377	前年同期比3.2倍超
売上総利益	330	561	
販管費	333	548	一時費用（ファイナンス関連コンサルティング費用等）36
営業利益	△3	12	一時費用を除くコア営業利益 48
営業外収益	7	18	
営業外費用	15	87	為替差損 46 一時費用（シンジケートローン手数料等）18
経常利益	△11	△56	一時費用を除いたコア経常損益 △1

(百万円)

		平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期
デバイス 関連	売上高	292	316
	営業利益	50	23
タッチパネル 関連	売上高	398	363
	営業利益	8	13
システム 開発関連	売上高	344	349
	営業利益	25	22
メモリーモジュール 関連	売上高	—	2,351
	営業利益	—	124

### <デバイス関連>

オールインワンハンドラ等、大型案件が売上増に寄与し、前年同期比8.3%増収となったものの、新ROM書込みセンターの設備機器償却、(株)TOUAの事業譲受費用等の影響で、営業利益53.8%減。

### <タッチパネル関連>

中型タッチパネル製品が低調で8.7%減収となったが、営業利益は54.1%増。最大330インチの超大型サイズ対応「インタラクティブシェルフ」の導入が始まり、今後の拡販を推進。

### <システム開発関連>

企業のIT投資が回復傾向にあるなかでビジネス環境は堅調に推移しているが、一方で慢性的な技術者不足は継続。売上高は前年同期比1.4%増で、ほぼ計画通り。

### <メモリーモジュール関連>

コンピュータ記憶装置のDIMM及びSSDの主要調達部材であるDRAM並びにNANDフラッシュメモリー価格の昨年からの下落により、売上高が当初見込みよりも低く推移。下落傾向は、ここにきて落ち着きを取り戻してきたものの、国内産業用機器メーカーの生産減少や円高傾向の継続など、先行き不透明な状況が続く。

# ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862  
<http://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、  
広報マーケティンググループまでお願いいたします。  
TEL:045-591-9228 FAX:045-591-6451

## <注意事項>

本資料に記載されている将来の予測や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいており、見通しの達成を保証するものではありません。実際の業績は、これら業績見通しとは異なる可能性があることをご了承ください。